

種目【数学】(1/4)

調査内容	2 東書					4 大日本																																																																
1-(1) ・知識及び技能：単元内のまとめりごとの確認問題や単元末の確認問題の分量 ・思考力、判断力、表現力等：数学的に問題発見・解決する過程の取扱い ・学びに向かう力、人間性等：数学のよさを実感できるような内容や分量 ・全国学力・学習状況調査等で岐阜県の課題とされている内容の取扱い	<b>■知識及び技能</b>					<b>■知識及び技能</b>																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単元内のまとめりごとの確認問題のページ数</td> <td>11.6</td> <td>7.4</td> <td>8.8</td> <td>27.8</td> </tr> <tr> <td>単元末の確認問題のページ数</td> <td>19.0</td> <td>19.8</td> <td>23.0</td> <td>61.8</td> </tr> </tbody> </table>						1年	2年	3年	計	単元内のまとめりごとの確認問題のページ数	11.6	7.4	8.8	27.8	単元末の確認問題のページ数	19.0	19.8	23.0	61.8	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単元内のまとめりごとの確認問題のページ数</td> <td>12.0</td> <td>9.2</td> <td>9.0</td> <td>30.2</td> </tr> <tr> <td>単元末の確認問題のページ数</td> <td>21.0</td> <td>20.5</td> <td>24.6</td> <td>66.1</td> </tr> </tbody> </table>						1年	2年	3年	計	単元内のまとめりごとの確認問題のページ数	12.0	9.2	9.0	30.2	単元末の確認問題のページ数	21.0	20.5	24.6	66.1																														
		1年	2年	3年	計																																																																	
	単元内のまとめりごとの確認問題のページ数	11.6	7.4	8.8	27.8																																																																	
単元末の確認問題のページ数	19.0	19.8	23.0	61.8																																																																		
	1年	2年	3年	計																																																																		
単元内のまとめりごとの確認問題のページ数	12.0	9.2	9.0	30.2																																																																		
単元末の確認問題のページ数	21.0	20.5	24.6	66.1																																																																		
<p>・全国学力・学習状況調査等の課題 第1学年「空間図形」の平面の決定条件の取扱い</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生活との関連の記述の有無</th> <th>図写真</th> <th>4つの決定条件の記述の有無</th> <th>条件提示後の問題設定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>					生活との関連の記述の有無	図写真	4つの決定条件の記述の有無	条件提示後の問題設定数	○	○	-	1	<p>・全国学力・学習状況調査等の課題 第1学年「空間図形」の平面の決定条件の取扱い</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生活との関連の記述の有無</th> <th>図写真</th> <th>4つの決定条件の記述の有無</th> <th>条件提示後の問題設定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>					生活との関連の記述の有無	図写真	4つの決定条件の記述の有無	条件提示後の問題設定数	○	○	○	2																																													
生活との関連の記述の有無	図写真	4つの決定条件の記述の有無	条件提示後の問題設定数																																																																			
○	○	-	1																																																																			
生活との関連の記述の有無	図写真	4つの決定条件の記述の有無	条件提示後の問題設定数																																																																			
○	○	○	2																																																																			
<p>・全国学力・学習状況調査等の課題 「データの活用」領域（第2学年「箱ひげ図」）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>傾向を読み取り説明する問題設定の箇所</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>					傾向を読み取り説明する問題設定の箇所	数		8	<p>・全国学力・学習状況調査等の課題 「データの活用」領域（第2学年「箱ひげ図」）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>傾向を読み取り説明する問題設定の箇所</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>					傾向を読み取り説明する問題設定の箇所	数		10																																																					
傾向を読み取り説明する問題設定の箇所	数																																																																					
	8																																																																					
傾向を読み取り説明する問題設定の箇所	数																																																																					
	10																																																																					
<b>■思考力・判断力・表現力等</b>					<b>■思考力・判断力・表現力等</b>																																																																	
<p>問題発見・問題解決の過程の構成や手掛かりとなる記載 第3学年「関数の利用」 P115～116</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>視点</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>問題を見いだす・つかむ</td> <td>○</td> <td>④</td> <td>他者の考え</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>見通しを立てる</td> <td>○</td> <td>⑤</td> <td>学びをふりかえる</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>問題解決に向けた考え</td> <td>○</td> <td>⑥</td> <td>深める・発展性</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>					視点	内容	有無	視点	内容	有無	①	問題を見いだす・つかむ	○	④	他者の考え	○	②	見通しを立てる	○	⑤	学びをふりかえる	○	③	問題解決に向けた考え	○	⑥	深める・発展性	○	<p>問題発見・問題解決の過程の構成や手掛かりとなる記載 第3学年「関数の利用」 P124～125</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>視点</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>問題を見いだす・つかむ</td> <td>○</td> <td>④</td> <td>他者の考え</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>見通しを立てる</td> <td>○</td> <td>⑤</td> <td>学びをふりかえる</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>問題解決に向けた考え</td> <td>○</td> <td>⑥</td> <td>深める・発展性</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>					視点	内容	有無	視点	内容	有無	①	問題を見いだす・つかむ	○	④	他者の考え	-	②	見通しを立てる	○	⑤	学びをふりかえる	-	③	問題解決に向けた考え	○	⑥	深める・発展性	○													
視点	内容	有無	視点	内容	有無																																																																	
①	問題を見いだす・つかむ	○	④	他者の考え	○																																																																	
②	見通しを立てる	○	⑤	学びをふりかえる	○																																																																	
③	問題解決に向けた考え	○	⑥	深める・発展性	○																																																																	
視点	内容	有無	視点	内容	有無																																																																	
①	問題を見いだす・つかむ	○	④	他者の考え	-																																																																	
②	見通しを立てる	○	⑤	学びをふりかえる	-																																																																	
③	問題解決に向けた考え	○	⑥	深める・発展性	○																																																																	
<p>・全国学力・学習状況調査等の課題 「データの活用」領域（第2学年「箱ひげ図」）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>傾向を読み取り説明する問題設定の箇所</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>					傾向を読み取り説明する問題設定の箇所	数		8	<p>・全国学力・学習状況調査等の課題 「データの活用」領域（第2学年「箱ひげ図」）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>傾向を読み取り説明する問題設定の箇所</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>					傾向を読み取り説明する問題設定の箇所	数		10																																																					
傾向を読み取り説明する問題設定の箇所	数																																																																					
	8																																																																					
傾向を読み取り説明する問題設定の箇所	数																																																																					
	10																																																																					
<b>■学びに向かう力・人間性等</b>					<b>■学びに向かう力・人間性等</b>																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単元の導入のページ数</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> <p>・単元の導入で、身に付く力を示したり、節の導入で、生活や数学の学習の中から問題を見いだしたりする構成である。</p>						1年	2年	3年	計	単元の導入のページ数	8	7	8	23	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単元の導入のページ数</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>16</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> <p>・単元の導入で、学習内容の概要を示し、生活や数学の学習の中から問題を見いだす構成である。</p>						1年	2年	3年	計	単元の導入のページ数	14	14	16	44																																									
	1年	2年	3年	計																																																																		
単元の導入のページ数	8	7	8	23																																																																		
	1年	2年	3年	計																																																																		
単元の導入のページ数	14	14	16	44																																																																		
1-(2) ・学び直しの機会に関わる内容の取扱い																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 章前に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>② 本文中に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>③ 巻末に既習内容を振り返る場面の設定・指示</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>						設定	① 章前に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	-	② 本文中に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	○	③ 巻末に既習内容を振り返る場面の設定・指示	○	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 章前に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>② 本文中に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>③ 巻末に既習内容を振り返る場面の設定・指示</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>						設定	① 章前に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	-	② 本文中に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	○	③ 巻末に既習内容を振り返る場面の設定・指示	○																																												
	設定																																																																					
① 章前に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	-																																																																					
② 本文中に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	○																																																																					
③ 巻末に既習内容を振り返る場面の設定・指示	○																																																																					
	設定																																																																					
① 章前に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	-																																																																					
② 本文中に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	○																																																																					
③ 巻末に既習内容を振り返る場面の設定・指示	○																																																																					
1-(3) ・数学的な見方・考え方についての取扱い	<table border="1"> <thead> <tr> <th>数学的な見方・考え方</th> <th>取扱い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・本文中に「虫眼鏡マーク」で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。 ・巻末に、「数学の目でふり返ろう」を位置付ける。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					数学的な見方・考え方	取扱い	・本文中に「虫眼鏡マーク」で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。 ・巻末に、「数学の目でふり返ろう」を位置付ける。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>数学的な見方・考え方</th> <th>取扱い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・巻頭で、「数学的な見方・考え方」として、数学的な見方・考え方と例を示す。 ・本文中に、キャラクターの発言等で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					数学的な見方・考え方	取扱い	・巻頭で、「数学的な見方・考え方」として、数学的な見方・考え方と例を示す。 ・本文中に、キャラクターの発言等で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。																																																					
	数学的な見方・考え方	取扱い																																																																				
・本文中に「虫眼鏡マーク」で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。 ・巻末に、「数学の目でふり返ろう」を位置付ける。																																																																						
数学的な見方・考え方	取扱い																																																																					
・巻頭で、「数学的な見方・考え方」として、数学的な見方・考え方と例を示す。 ・本文中に、キャラクターの発言等で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。																																																																						
2-(1) ・主体的に学習を調整することにつながる教材や構成	<table border="1"> <thead> <tr> <th>「例」・「例題」等の記載数（箇所）</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>87</td> <td>43</td> <td>80</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>巻末の取扱い（例）第1学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>ページ数</th> <th>内容</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数学の目でふり返ろう</td> <td>6</td> <td>数学の自由研究</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>学びのベース</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年のふり返り</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>補充の問題</td> <td>15</td> <td>総ページ数</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table>					「例」・「例題」等の記載数（箇所）	1年	2年	3年	計		87	43	80		内容	ページ数	内容	ページ数	数学の目でふり返ろう	6	数学の自由研究	11	学びのベース	7			1年のふり返り	3			補充の問題	15	総ページ数	42	<table border="1"> <thead> <tr> <th>「例」・「例題」等の記載数（箇所）</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>59</td> <td>44</td> <td>64</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>巻末の取扱い（例）第1学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>ページ数</th> <th>内容</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>課題学習</td> <td>4</td> <td>総合問題</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>MATHFUL</td> <td>10</td> <td>1年のまとめ</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>小学校算数のふり返り</td> <td>6</td> <td>数学の目で見てみよう</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>補充問題</td> <td>8</td> <td>総ページ数</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table>					「例」・「例題」等の記載数（箇所）	1年	2年	3年	計		59	44	64		内容	ページ数	内容	ページ数	課題学習	4	総合問題	4	MATHFUL	10	1年のまとめ	4	小学校算数のふり返り	6	数学の目で見てみよう	3	補充問題	8	総ページ数	39
	「例」・「例題」等の記載数（箇所）	1年	2年	3年	計																																																																	
		87	43	80																																																																		
内容	ページ数	内容	ページ数																																																																			
数学の目でふり返ろう	6	数学の自由研究	11																																																																			
学びのベース	7																																																																					
1年のふり返り	3																																																																					
補充の問題	15	総ページ数	42																																																																			
「例」・「例題」等の記載数（箇所）	1年	2年	3年	計																																																																		
	59	44	64																																																																			
内容	ページ数	内容	ページ数																																																																			
課題学習	4	総合問題	4																																																																			
MATHFUL	10	1年のまとめ	4																																																																			
小学校算数のふり返り	6	数学の目で見てみよう	3																																																																			
補充問題	8	総ページ数	39																																																																			
2-(2) ・学びを振り返り評価・改善しようとするための構成	<b>■単元終了時等に、学びを振り返り評価・改善する場面の設定・指示</b>					<b>■単元終了時等に、学びを振り返り評価・改善する場面の設定・指示</b>																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>内容</th> <th>例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>・レポート</td> <td>第1学年 P60、第2学年 P32 第3学年 P38</td> </tr> </tbody> </table>					設定	内容	例	○	・レポート	第1学年 P60、第2学年 P32 第3学年 P38	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>内容</th> <th>例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>・問い</td> <td>第1学年 P62、第2学年 P36 第3学年 P130</td> </tr> </tbody> </table>					設定	内容	例	○	・問い	第1学年 P62、第2学年 P36 第3学年 P130																																																
設定	内容	例																																																																				
○	・レポート	第1学年 P60、第2学年 P32 第3学年 P38																																																																				
設定	内容	例																																																																				
○	・問い	第1学年 P62、第2学年 P36 第3学年 P130																																																																				
2-(3) ・二次元コードの分量や構成	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二次元コードの数</td> <td>241</td> <td>192</td> <td>215</td> <td>648</td> </tr> </tbody> </table> <p>・デジタルコンテンツが利用できる学習内容の横に「Dマーク」の印と「動画」「シミュレーション」「ヒントと解答」などコンテンツの内容を示す記載があり、下部に二次元コードが配置されている。</p>						1年	2年	3年	計	二次元コードの数	241	192	215	648	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二次元コードの数</td> <td>19</td> <td>12</td> <td>21</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table> <p>・デジタルコンテンツが利用できる学習内容の横に「WEB」の印があり、二次元コードが配置されている。</p>						1年	2年	3年	計	二次元コードの数	19	12	21	52																																								
		1年	2年	3年	計																																																																	
二次元コードの数	241	192	215	648																																																																		
	1年	2年	3年	計																																																																		
二次元コードの数	19	12	21	52																																																																		
3-(1) ・教科書の総ページ数、重量	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数</td> <td>322</td> <td>258</td> <td>290</td> <td>870</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>544.9</td> <td>420.7</td> <td>467.9</td> <td>1433.5</td> </tr> </tbody> </table>						1年	2年	3年	計	総ページ数	322	258	290	870	重量(g)	544.9	420.7	467.9	1433.5	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数</td> <td>322</td> <td>248</td> <td>300</td> <td>870</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>544.7</td> <td>418.4</td> <td>504.8</td> <td>1467.9</td> </tr> </tbody> </table>						1年	2年	3年	計	総ページ数	322	248	300	870	重量(g)	544.7	418.4	504.8	1467.9																														
		1年	2年	3年	計																																																																	
総ページ数	322	258	290	870																																																																		
重量(g)	544.9	420.7	467.9	1433.5																																																																		
	1年	2年	3年	計																																																																		
総ページ数	322	248	300	870																																																																		
重量(g)	544.7	418.4	504.8	1467.9																																																																		
3-(2) ・文字の大きさ、字間、行間、書体等	<p>・ルビなどの小さい文字にはUDフォントを採用し、配色にはカラーユニバーサルデザインを取り入れている。 ・重要語句は太字で強調され、新出用語にはふりがなが付けられている。</p>					<p>・書体にはUDフォントを採用し、配色にはカラーユニバーサルデザインを取り入れている。 ・重要語句は太字で強調され、新出用語にはふりがなが付けられている。</p>																																																																
	3-(3) ・数学用語の索引数	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>索引数(個)</td> <td>107</td> <td>46</td> <td>31</td> <td>184</td> </tr> </tbody> </table>						1年	2年	3年	計	索引数(個)	107	46	31	184	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>索引数(個)</td> <td>159</td> <td>77</td> <td>54</td> <td>290</td> </tr> </tbody> </table>						1年	2年	3年	計	索引数(個)	159	77	54	290																																							
		1年	2年	3年	計																																																																	
索引数(個)	107	46	31	184																																																																		
	1年	2年	3年	計																																																																		
索引数(個)	159	77	54	290																																																																		

種目【数学】(2/4)

調査内容	11 学図	17 教出																																																																																																																										
1-(1) ・知識及び技能：単元内のまとまりごとの確認問題や単元末の確認問題の分量 ・思考力、判断力、表現力等：数学的に問題発見・解決する過程の取扱い ・学びに向かう力、人間性等：数学のよさを実感できるような内容や分量 ・全国学力・学習状況調査等で岐阜県の課題とされている内容の取扱い	<p>■知識及び技能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単元内のまとまりごとの確認問題のページ数</td> <td>16.0</td> <td>11.4</td> <td>15.6</td> <td>43.0</td> </tr> <tr> <td>単元末の確認問題のページ数</td> <td>29.0</td> <td>30.0</td> <td>33.0</td> <td>92.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・全国学力・学習状況調査等の課題 第1学年「空間図形」の平面の決定条件の取扱い</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生活との関連の記述の有無</th> <th>図写真</th> <th>4つの決定条件の記述の有無</th> <th>条件提示後の問題設定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>■思考力・判断力・表現力等 問題発見・問題解決の過程の構成や手掛かりとなる記載 第3学年「関数の利用」 P124～125</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>視点</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>問題を見いだす・つかむ</td> <td>○</td> <td>④</td> <td>他者の考え</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>見通しを立てる</td> <td>○</td> <td>⑤</td> <td>学びをふりかえる</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>問題解決に向けた考え</td> <td>○</td> <td>⑥</td> <td>深める・発展性</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>・全国学力・学習状況調査等の課題 「データの活用」領域（第2学年「箱ひげ図」）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>傾向を読み取り説明する問題設定の箇所</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>■学びに向かう力・人間性等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単元の導入のページ数</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>・単元や節の導入で、学習内容につながる問いを生活や数学の学習の中から見いだす構成である。</p>		1年	2年	3年	計	単元内のまとまりごとの確認問題のページ数	16.0	11.4	15.6	43.0	単元末の確認問題のページ数	29.0	30.0	33.0	92.0	生活との関連の記述の有無	図写真	4つの決定条件の記述の有無	条件提示後の問題設定数	—	○	—	—	視点	内容	有無	視点	内容	有無	①	問題を見いだす・つかむ	○	④	他者の考え	—	②	見通しを立てる	○	⑤	学びをふりかえる	—	③	問題解決に向けた考え	○	⑥	深める・発展性	○	傾向を読み取り説明する問題設定の箇所	数		6		1年	2年	3年	計	単元の導入のページ数	7	7	8	22	<p>■知識及び技能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単元内のまとまりごとの確認問題のページ数</td> <td>11.6</td> <td>8.6</td> <td>11.0</td> <td>31.2</td> </tr> <tr> <td>単元末の確認問題のページ数</td> <td>28.0</td> <td>27.0</td> <td>31.0</td> <td>86.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・全国学力・学習状況調査等の課題 第1学年「空間図形」の平面の決定条件の取扱い</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生活との関連の記述の有無</th> <th>図写真</th> <th>4つの決定条件の記述の有無</th> <th>条件提示後の問題設定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>■思考力・判断力・表現力等 問題発見・問題解決の過程の構成や手掛かりとなる記載 第3学年「関数の利用」 P128～130</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>視点</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>問題を見いだす・つかむ</td> <td>○</td> <td>④</td> <td>他者の考え</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>見通しを立てる</td> <td>○</td> <td>⑤</td> <td>学びをふりかえる</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>問題解決に向けた考え</td> <td>○</td> <td>⑥</td> <td>深める・発展性</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>・全国学力・学習状況調査等の課題 「データの活用」領域（第2学年「箱ひげ図」）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>傾向を読み取り説明する問題設定の箇所</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>■学びに向かう力・人間性等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単元の導入のページ数</td> <td>24</td> <td>21</td> <td>24</td> <td>69</td> </tr> </tbody> </table> <p>・単元の導入で、実社会や日常生活などの話題を取り上げるとともに導入課題「Let's Try」を位置付ける構成である。</p>		1年	2年	3年	計	単元内のまとまりごとの確認問題のページ数	11.6	8.6	11.0	31.2	単元末の確認問題のページ数	28.0	27.0	31.0	86.0	生活との関連の記述の有無	図写真	4つの決定条件の記述の有無	条件提示後の問題設定数	○	○	○	1	視点	内容	有無	視点	内容	有無	①	問題を見いだす・つかむ	○	④	他者の考え	○	②	見通しを立てる	○	⑤	学びをふりかえる	○	③	問題解決に向けた考え	○	⑥	深める・発展性	○	傾向を読み取り説明する問題設定の箇所	数		5		1年	2年	3年	計	単元の導入のページ数	24	21	24	69
	1年	2年	3年	計																																																																																																																								
単元内のまとまりごとの確認問題のページ数	16.0	11.4	15.6	43.0																																																																																																																								
単元末の確認問題のページ数	29.0	30.0	33.0	92.0																																																																																																																								
生活との関連の記述の有無	図写真	4つの決定条件の記述の有無	条件提示後の問題設定数																																																																																																																									
—	○	—	—																																																																																																																									
視点	内容	有無	視点	内容	有無																																																																																																																							
①	問題を見いだす・つかむ	○	④	他者の考え	—																																																																																																																							
②	見通しを立てる	○	⑤	学びをふりかえる	—																																																																																																																							
③	問題解決に向けた考え	○	⑥	深める・発展性	○																																																																																																																							
傾向を読み取り説明する問題設定の箇所	数																																																																																																																											
	6																																																																																																																											
	1年	2年	3年	計																																																																																																																								
単元の導入のページ数	7	7	8	22																																																																																																																								
	1年	2年	3年	計																																																																																																																								
単元内のまとまりごとの確認問題のページ数	11.6	8.6	11.0	31.2																																																																																																																								
単元末の確認問題のページ数	28.0	27.0	31.0	86.0																																																																																																																								
生活との関連の記述の有無	図写真	4つの決定条件の記述の有無	条件提示後の問題設定数																																																																																																																									
○	○	○	1																																																																																																																									
視点	内容	有無	視点	内容	有無																																																																																																																							
①	問題を見いだす・つかむ	○	④	他者の考え	○																																																																																																																							
②	見通しを立てる	○	⑤	学びをふりかえる	○																																																																																																																							
③	問題解決に向けた考え	○	⑥	深める・発展性	○																																																																																																																							
傾向を読み取り説明する問題設定の箇所	数																																																																																																																											
	5																																																																																																																											
	1年	2年	3年	計																																																																																																																								
単元の導入のページ数	24	21	24	69																																																																																																																								
1-(2) ・学び直しの機会に関わる内容の取扱い	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 章前に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>② 本文中に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>③ 巻末に既習内容を振り返る場面の設定・指示</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		設定	① 章前に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	○	② 本文中に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	○	③ 巻末に既習内容を振り返る場面の設定・指示	○	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 章前に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>② 本文中に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>③ 巻末に既習内容を振り返る場面の設定・指示</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		設定	① 章前に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	○	② 本文中に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	○	③ 巻末に既習内容を振り返る場面の設定・指示	○																																																																																																										
	設定																																																																																																																											
① 章前に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	○																																																																																																																											
② 本文中に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	○																																																																																																																											
③ 巻末に既習内容を振り返る場面の設定・指示	○																																																																																																																											
	設定																																																																																																																											
① 章前に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	○																																																																																																																											
② 本文中に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	○																																																																																																																											
③ 巻末に既習内容を振り返る場面の設定・指示	○																																																																																																																											
1-(3) ・数学的な見方・考え方についての取扱い	<table border="1"> <thead> <tr> <th>数学的な見方・考え方</th> <th>取扱い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・巻頭と巻末で、「見方・考え方」として、数学的な見方・考え方を示す。 ・本文中に、「見方・考え方マーク」で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	数学的な見方・考え方	取扱い	・巻頭と巻末で、「見方・考え方」として、数学的な見方・考え方を示す。 ・本文中に、「見方・考え方マーク」で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>数学的な見方・考え方</th> <th>取扱い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・巻頭で「大切にしたい数学的な見方・考え方」として、数学的な見方・考え方と例を示す。 ・本文中に、「羅針盤マーク」で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	数学的な見方・考え方	取扱い	・巻頭で「大切にしたい数学的な見方・考え方」として、数学的な見方・考え方と例を示す。 ・本文中に、「羅針盤マーク」で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。																																																																																																																			
数学的な見方・考え方	取扱い																																																																																																																											
・巻頭と巻末で、「見方・考え方」として、数学的な見方・考え方を示す。 ・本文中に、「見方・考え方マーク」で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。																																																																																																																												
数学的な見方・考え方	取扱い																																																																																																																											
・巻頭で「大切にしたい数学的な見方・考え方」として、数学的な見方・考え方と例を示す。 ・本文中に、「羅針盤マーク」で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。																																																																																																																												
2-(1) ・主体的に学習を調整することにつながる教材や構成	<table border="1"> <thead> <tr> <th>「例」・「例題」等の記載数（箇所）</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>100</td> <td>57</td> <td>94</td> </tr> </tbody> </table> <p>巻末の取扱い（例）第1学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>ページ数</th> <th>内容</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>さらなる数学へ（協働学習のページ）</td> <td>18</td> <td>プログラミングを体験してみよう</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小学校の計算</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年の復習</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>数学の力</td> <td>1</td> <td>総ページ数</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table>	「例」・「例題」等の記載数（箇所）	1年	2年	3年		100	57	94	内容	ページ数	内容	ページ数	さらなる数学へ（協働学習のページ）	18	プログラミングを体験してみよう	2	小学校の計算	1			1年の復習	7			数学の力	1	総ページ数	29	<table border="1"> <thead> <tr> <th>「例」・「例題」等の記載数（箇所）</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>81</td> <td>56</td> <td>84</td> </tr> </tbody> </table> <p>巻末の取扱い（例）第1学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>ページ数</th> <th>内容</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数学の広場＋プラス</td> <td>3</td> <td>補充問題 / 実力アップ問題</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>学んだことを活用しよう＋プラス</td> <td>3</td> <td>社会で活躍する数学</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>小学校の算数計算のふり返り</td> <td>1</td> <td>数学パズル</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>学びのマップ</td> <td>9</td> <td>総ページ数</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table>	「例」・「例題」等の記載数（箇所）	1年	2年	3年		81	56	84	内容	ページ数	内容	ページ数	数学の広場＋プラス	3	補充問題 / 実力アップ問題	15	学んだことを活用しよう＋プラス	3	社会で活躍する数学	1	小学校の算数計算のふり返り	1	数学パズル	2	学びのマップ	9	総ページ数	34																																																																		
「例」・「例題」等の記載数（箇所）	1年	2年	3年																																																																																																																									
	100	57	94																																																																																																																									
内容	ページ数	内容	ページ数																																																																																																																									
さらなる数学へ（協働学習のページ）	18	プログラミングを体験してみよう	2																																																																																																																									
小学校の計算	1																																																																																																																											
1年の復習	7																																																																																																																											
数学の力	1	総ページ数	29																																																																																																																									
「例」・「例題」等の記載数（箇所）	1年	2年	3年																																																																																																																									
	81	56	84																																																																																																																									
内容	ページ数	内容	ページ数																																																																																																																									
数学の広場＋プラス	3	補充問題 / 実力アップ問題	15																																																																																																																									
学んだことを活用しよう＋プラス	3	社会で活躍する数学	1																																																																																																																									
小学校の算数計算のふり返り	1	数学パズル	2																																																																																																																									
学びのマップ	9	総ページ数	34																																																																																																																									
2-(2) ・学びを振り返り評価・改善しようとするための構成	<p>■単元終了時等に、学びを振り返り評価・改善する場面の設定・指示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>内容</th> <th>例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>・チェックリスト ・学習感想</td> <td>第1学年 P123、第2学年 P63 第3学年 P95</td> </tr> </tbody> </table>	設定	内容	例	○	・チェックリスト ・学習感想	第1学年 P123、第2学年 P63 第3学年 P95	<p>■単元終了時等に、学びを振り返り評価・改善する場面の設定・指示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>内容</th> <th>例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>・学習感想</td> <td>第1学年 P63、第2学年 P38 第3学年 P42</td> </tr> </tbody> </table>	設定	内容	例	○	・学習感想	第1学年 P63、第2学年 P38 第3学年 P42																																																																																																														
設定	内容	例																																																																																																																										
○	・チェックリスト ・学習感想	第1学年 P123、第2学年 P63 第3学年 P95																																																																																																																										
設定	内容	例																																																																																																																										
○	・学習感想	第1学年 P63、第2学年 P38 第3学年 P42																																																																																																																										
2-(3) ・二次元コードの分量や構成	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二次元コードの数</td> <td>131</td> <td>87</td> <td>118</td> <td>336</td> </tr> </tbody> </table> <p>・デジタルコンテンツが利用できる学習内容の横に二次元コードが配置され、「アニメーション」「パトロール隊」「チャレンジ」などコンテンツの内容を示す記載がある。</p>		1年	2年	3年	計	二次元コードの数	131	87	118	336	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二次元コードの数</td> <td>125</td> <td>79</td> <td>84</td> <td>288</td> </tr> </tbody> </table> <p>・デジタルコンテンツが利用できる学習内容の横に二次元コードが配置され、「操作」「動画」「資料」などコンテンツの内容を示すマークの記載がある。</p>		1年	2年	3年	計	二次元コードの数	125	79	84	288																																																																																																						
	1年	2年	3年	計																																																																																																																								
二次元コードの数	131	87	118	336																																																																																																																								
	1年	2年	3年	計																																																																																																																								
二次元コードの数	125	79	84	288																																																																																																																								
3-(1) ・教科書の総ページ数、重量	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数</td> <td>324</td> <td>266</td> <td>326</td> <td>916</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>550.8</td> <td>455.0</td> <td>554.4</td> <td>1560.2</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	総ページ数	324	266	326	916	重量(g)	550.8	455.0	554.4	1560.2	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数</td> <td>344</td> <td>276</td> <td>312</td> <td>932</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>582.9</td> <td>453.5</td> <td>518.8</td> <td>1555.2</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	総ページ数	344	276	312	932	重量(g)	582.9	453.5	518.8	1555.2																																																																																												
	1年	2年	3年	計																																																																																																																								
総ページ数	324	266	326	916																																																																																																																								
重量(g)	550.8	455.0	554.4	1560.2																																																																																																																								
	1年	2年	3年	計																																																																																																																								
総ページ数	344	276	312	932																																																																																																																								
重量(g)	582.9	453.5	518.8	1555.2																																																																																																																								
3-(2) ・文字の大きさ、字間、行間、書体等	<p>・書体にはUDフォントを採用し、配色にはカラーユニバーサル観点を取り入れている。 ・重要語句は太字で強調され、新出用語にはふりがなが付けられている。</p>	<p>・書体には主にUDフォントを採用し、配色にはカラーユニバーサル観点を取り入れている。 ・重要語句は太字で強調され、新出用語にはふりがなが付けられている。</p>																																																																																																																										
3-(3) ・数学用語の索引数	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>索引数(個)</td> <td>115</td> <td>51</td> <td>39</td> <td>205</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	索引数(個)	115	51	39	205	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>索引数(個)</td> <td>116</td> <td>49</td> <td>29</td> <td>194</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	索引数(個)	116	49	29	194																																																																																																						
	1年	2年	3年	計																																																																																																																								
索引数(個)	115	51	39	205																																																																																																																								
	1年	2年	3年	計																																																																																																																								
索引数(個)	116	49	29	194																																																																																																																								



種目【数学】(3/4)

調査内容	61 啓林館	104 数研																																																																																																																										
1-(1) ・知識及び技能：単元内のまとまりごとの確認問題や単元末の確認問題の分量 ・思考力、判断力、表現力等：数学的に問題発見・解決する過程の取扱い ・学びに向かう力、人間性等：数学のよさを実感できるような内容や分量 ・全国学力・学習状況調査等で岐阜県の課題とされている内容の取扱い	<p><b>■知識及び技能</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単元内のまとまりごとの確認問題のページ数</td> <td>9.3</td> <td>5.7</td> <td>8.2</td> <td>23.2</td> </tr> <tr> <td>単元末の確認問題のページ数</td> <td>26.4</td> <td>25.0</td> <td>30.3</td> <td>81.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>・全国学力・学習状況調査等の課題 第1学年「空間図形」の平面の決定条件の取扱い</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生活との関連の記述の有無</th> <th>図写真</th> <th>4つの決定条件の記述の有無</th> <th>条件提示後の問題設定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>■思考力・判断力・表現力等</b> 問題発見・問題解決の過程の構成や手掛かりとなる記載 第3学年「関数の利用」 P112~114</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>視点</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>問題を見いだす・つかむ</td> <td>○</td> <td>④</td> <td>他者の考え</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>見通しを立てる</td> <td>○</td> <td>⑤</td> <td>学びをふりかえる</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>問題解決に向けた考え</td> <td>○</td> <td>⑥</td> <td>深める・発展性</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>・全国学力・学習状況調査等の課題 「データの活用」領域(第2学年「箱ひげ図」)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>傾向を読み取り説明する問題設定の箇所</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>■学びに向かう力・人間性等</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単元の導入のページ数</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>・単元や節の導入で、生活や数学の話題を取り上げ、「話しあおう」、「説明しよう」を位置付け、節の目標につなぐ構成である。</p>		1年	2年	3年	計	単元内のまとまりごとの確認問題のページ数	9.3	5.7	8.2	23.2	単元末の確認問題のページ数	26.4	25.0	30.3	81.7	生活との関連の記述の有無	図写真	4つの決定条件の記述の有無	条件提示後の問題設定数	○	○	○	1	視点	内容	有無	視点	内容	有無	①	問題を見いだす・つかむ	○	④	他者の考え	—	②	見通しを立てる	○	⑤	学びをふりかえる	○	③	問題解決に向けた考え	○	⑥	深める・発展性	○	傾向を読み取り説明する問題設定の箇所	数		5		1年	2年	3年	計	単元の導入のページ数	7	7	8	22	<p><b>■知識及び技能</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単元内のまとまりごとの確認問題のページ数</td> <td>15.3</td> <td>11.7</td> <td>12.6</td> <td>39.6</td> </tr> <tr> <td>単元末の確認問題のページ数</td> <td>20.0</td> <td>20.0</td> <td>22.0</td> <td>62.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・全国学力・学習状況調査等の課題 第1学年「空間図形」の平面の決定条件の取扱い</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生活との関連の記述の有無</th> <th>図写真</th> <th>4つの決定条件の記述の有無</th> <th>条件提示後の問題設定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>■思考力・判断力・表現力等</b> 問題発見・問題解決の過程の構成や手掛かりとなる記載 第3学年「関数の利用」 P132~133</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>視点</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>問題を見いだす・つかむ</td> <td>○</td> <td>④</td> <td>他者の考え</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>見通しを立てる</td> <td>○</td> <td>⑤</td> <td>学びをふりかえる</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>問題解決に向けた考え</td> <td>○</td> <td>⑥</td> <td>深める・発展性</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>・全国学力・学習状況調査等の課題 「データの活用」領域(第2学年「箱ひげ図」)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>傾向を読み取り説明する問題設定の箇所</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>■学びに向かう力・人間性等</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単元の導入のページ数</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>・単元の導入に、生活や数学の話題を取り上げ、単元の内容につなぐ構成である。</p>		1年	2年	3年	計	単元内のまとまりごとの確認問題のページ数	15.3	11.7	12.6	39.6	単元末の確認問題のページ数	20.0	20.0	22.0	62.0	生活との関連の記述の有無	図写真	4つの決定条件の記述の有無	条件提示後の問題設定数	○	○	○	2	視点	内容	有無	視点	内容	有無	①	問題を見いだす・つかむ	○	④	他者の考え	○	②	見通しを立てる	○	⑤	学びをふりかえる	—	③	問題解決に向けた考え	○	⑥	深める・発展性	○	傾向を読み取り説明する問題設定の箇所	数		4		1年	2年	3年	計	単元の導入のページ数	4	4	9	17
	1年	2年	3年	計																																																																																																																								
単元内のまとまりごとの確認問題のページ数	9.3	5.7	8.2	23.2																																																																																																																								
単元末の確認問題のページ数	26.4	25.0	30.3	81.7																																																																																																																								
生活との関連の記述の有無	図写真	4つの決定条件の記述の有無	条件提示後の問題設定数																																																																																																																									
○	○	○	1																																																																																																																									
視点	内容	有無	視点	内容	有無																																																																																																																							
①	問題を見いだす・つかむ	○	④	他者の考え	—																																																																																																																							
②	見通しを立てる	○	⑤	学びをふりかえる	○																																																																																																																							
③	問題解決に向けた考え	○	⑥	深める・発展性	○																																																																																																																							
傾向を読み取り説明する問題設定の箇所	数																																																																																																																											
	5																																																																																																																											
	1年	2年	3年	計																																																																																																																								
単元の導入のページ数	7	7	8	22																																																																																																																								
	1年	2年	3年	計																																																																																																																								
単元内のまとまりごとの確認問題のページ数	15.3	11.7	12.6	39.6																																																																																																																								
単元末の確認問題のページ数	20.0	20.0	22.0	62.0																																																																																																																								
生活との関連の記述の有無	図写真	4つの決定条件の記述の有無	条件提示後の問題設定数																																																																																																																									
○	○	○	2																																																																																																																									
視点	内容	有無	視点	内容	有無																																																																																																																							
①	問題を見いだす・つかむ	○	④	他者の考え	○																																																																																																																							
②	見通しを立てる	○	⑤	学びをふりかえる	—																																																																																																																							
③	問題解決に向けた考え	○	⑥	深める・発展性	○																																																																																																																							
傾向を読み取り説明する問題設定の箇所	数																																																																																																																											
	4																																																																																																																											
	1年	2年	3年	計																																																																																																																								
単元の導入のページ数	4	4	9	17																																																																																																																								
1-(2) ・学び直しの機会に関わる内容の取扱い	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 章前に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>② 本文中に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>③ 巻末に既習内容を振り返る場面の設定・指示</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		設定	① 章前に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	—	② 本文中に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	○	③ 巻末に既習内容を振り返る場面の設定・指示	○	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 章前に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>② 本文中に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>③ 巻末に既習内容を振り返る場面の設定・指示</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		設定	① 章前に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	○	② 本文中に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	○	③ 巻末に既習内容を振り返る場面の設定・指示	○																																																																																																										
	設定																																																																																																																											
① 章前に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	—																																																																																																																											
② 本文中に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	○																																																																																																																											
③ 巻末に既習内容を振り返る場面の設定・指示	○																																																																																																																											
	設定																																																																																																																											
① 章前に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	○																																																																																																																											
② 本文中に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示	○																																																																																																																											
③ 巻末に既習内容を振り返る場面の設定・指示	○																																																																																																																											
1-(3) ・数学的な見方・考え方についての取扱い	<table border="1"> <thead> <tr> <th>数学的な見方・考え方</th> <th>取扱い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・巻頭で、「たいせつな考え方」として、数学的な見方・考え方と例を示す。 ・本文中に、「標識」で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	数学的な見方・考え方	取扱い	・巻頭で、「たいせつな考え方」として、数学的な見方・考え方と例を示す。 ・本文中に、「標識」で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>数学的な見方・考え方</th> <th>取扱い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・巻頭で、「数学的な見方・考え方」として、数学的な見方・考え方を示す。 ・本文中に、キャラクターの発言等で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	数学的な見方・考え方	取扱い	・巻頭で、「数学的な見方・考え方」として、数学的な見方・考え方を示す。 ・本文中に、キャラクターの発言等で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。																																																																																																																			
数学的な見方・考え方	取扱い																																																																																																																											
・巻頭で、「たいせつな考え方」として、数学的な見方・考え方と例を示す。 ・本文中に、「標識」で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。																																																																																																																												
数学的な見方・考え方	取扱い																																																																																																																											
・巻頭で、「数学的な見方・考え方」として、数学的な見方・考え方を示す。 ・本文中に、キャラクターの発言等で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。																																																																																																																												
2-(1) ・主体的に学習を調整することにつながる教材や構成	<table border="1"> <thead> <tr> <th>「例」・「例題」等の記載数(箇所)</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>99</td> <td>50</td> <td>88</td> </tr> </tbody> </table> <p>巻末の取扱い(例) 第1学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>ページ数</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学びを振り返ろう</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>力をつけよう</td> <td>14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学びをいかそう</td> <td>26</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年生のまとめ</td> <td>3</td> <td>総ページ数</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table>	「例」・「例題」等の記載数(箇所)	1年	2年	3年		99	50	88	内容	ページ数	ページ数	学びを振り返ろう	6		力をつけよう	14		学びをいかそう	26		1年生のまとめ	3	総ページ数			49	<table border="1"> <thead> <tr> <th>「例」・「例題」等の記載数(箇所)</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>101</td> <td>63</td> <td>96</td> </tr> </tbody> </table> <p>巻末の取扱い(例) 第1学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>ページ数</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数学旅行</td> <td>11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>チャレンジ編</td> <td>22</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中学1年のまとめ</td> <td>8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学びの自己評価</td> <td>2</td> <td>総ページ数</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>43</td> </tr> </tbody> </table>	「例」・「例題」等の記載数(箇所)	1年	2年	3年		101	63	96	内容	ページ数	ページ数	数学旅行	11		チャレンジ編	22		中学1年のまとめ	8		学びの自己評価	2	総ページ数			43																																																																						
「例」・「例題」等の記載数(箇所)	1年	2年	3年																																																																																																																									
	99	50	88																																																																																																																									
内容	ページ数	ページ数																																																																																																																										
学びを振り返ろう	6																																																																																																																											
力をつけよう	14																																																																																																																											
学びをいかそう	26																																																																																																																											
1年生のまとめ	3	総ページ数																																																																																																																										
		49																																																																																																																										
「例」・「例題」等の記載数(箇所)	1年	2年	3年																																																																																																																									
	101	63	96																																																																																																																									
内容	ページ数	ページ数																																																																																																																										
数学旅行	11																																																																																																																											
チャレンジ編	22																																																																																																																											
中学1年のまとめ	8																																																																																																																											
学びの自己評価	2	総ページ数																																																																																																																										
		43																																																																																																																										
2-(2) ・学びを振り返り評価・改善しようとするための構成	<p><b>■単元終了時等に、学びを振り返り評価・改善する場面の設定・指示</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>内容</th> <th>例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>・学習感想</td> <td>第1学年 p111、第2学年 p57 第3学年 p89</td> </tr> </tbody> </table>	設定	内容	例	○	・学習感想	第1学年 p111、第2学年 p57 第3学年 p89	<p><b>■単元終了時等に、学びを振り返り評価・改善する場面の設定・指示</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>内容</th> <th>例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>・チェックリスト</td> <td>第1・2・3学年：裏見返し</td> </tr> </tbody> </table>	設定	内容	例	○	・チェックリスト	第1・2・3学年：裏見返し																																																																																																														
設定	内容	例																																																																																																																										
○	・学習感想	第1学年 p111、第2学年 p57 第3学年 p89																																																																																																																										
設定	内容	例																																																																																																																										
○	・チェックリスト	第1・2・3学年：裏見返し																																																																																																																										
2-(3) ・二次元コードの分量や構成	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二次元コードの数</td> <td>190</td> <td>144</td> <td>169</td> <td>503</td> </tr> </tbody> </table> <p>・コンテンツが利用できる学習内容の横に二次元コードが配置され、「動かす」「考え方、解答、解説動画」「補充問題」などコンテンツの内容を示す記載がある。</p>		1年	2年	3年	計	二次元コードの数	190	144	169	503	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二次元コードの数</td> <td>116</td> <td>96</td> <td>107</td> <td>319</td> </tr> </tbody> </table> <p>・コンテンツが利用できる学習内容の横に「Link」の印と「補充」「イメージ」「考察」などコンテンツの内容を示す記載があり、下部に二次元コードが配置されている。</p>		1年	2年	3年	計	二次元コードの数	116	96	107	319																																																																																																						
	1年	2年	3年	計																																																																																																																								
二次元コードの数	190	144	169	503																																																																																																																								
	1年	2年	3年	計																																																																																																																								
二次元コードの数	116	96	107	319																																																																																																																								
3-(1) ・教科書の総ページ数、重量	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数</td> <td>300</td> <td>236</td> <td>280</td> <td>816</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>490.1</td> <td>393.9</td> <td>463.0</td> <td>1347</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	総ページ数	300	236	280	816	重量(g)	490.1	393.9	463.0	1347	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数</td> <td>316</td> <td>268</td> <td>324</td> <td>908</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>518.6</td> <td>438.1</td> <td>529.8</td> <td>1486.5</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	総ページ数	316	268	324	908	重量(g)	518.6	438.1	529.8	1486.5																																																																																												
	1年	2年	3年	計																																																																																																																								
総ページ数	300	236	280	816																																																																																																																								
重量(g)	490.1	393.9	463.0	1347																																																																																																																								
	1年	2年	3年	計																																																																																																																								
総ページ数	316	268	324	908																																																																																																																								
重量(g)	518.6	438.1	529.8	1486.5																																																																																																																								
3-(2) ・文字の大きさ、字間、行間、書体等	<p>・書体にはUDフォントを採用し、配色はMUD協会の検証を受けている。 ・重要語句は太字、橙色囲みで強調され、新出用語にはふりがなが付けられている。</p>	<p>・書体にはUDフォントを採用し、配色にはカラーユニバーサル観点を取り入れている。 ・重要語句は太字で強調され、新出用語にはふりがなが付けられている。</p>																																																																																																																										
3-(3) ・数学用語の索引数	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>索引数(個)</td> <td>131</td> <td>52</td> <td>28</td> <td>211</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	索引数(個)	131	52	28	211	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>索引数(個)</td> <td>145</td> <td>62</td> <td>41</td> <td>248</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	索引数(個)	145	62	41	248																																																																																																						
	1年	2年	3年	計																																																																																																																								
索引数(個)	131	52	28	211																																																																																																																								
	1年	2年	3年	計																																																																																																																								
索引数(個)	145	62	41	248																																																																																																																								

種目【数学】(4/4)

調査内容	116 日文																																			
1-(1) ・知識及び技能：単元内のまとまりごとの確認問題や単元末の確認問題の分量 ・思考力、判断力、表現力等：数学的に問題発見・解決する過程の取扱い ・学びに向かう力、人間性等：数学のよさを実感できるような内容や分量 ・全国学力・学習状況調査等で岐阜県の課題とされている内容の取扱い	<b>■知識及び技能</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単元内のまとまりごとの確認問題のページ数</td> <td>12.8</td> <td>12.0</td> <td>11.5</td> <td>36.3</td> </tr> <tr> <td>単元末の確認問題のページ数</td> <td>16.0</td> <td>14.0</td> <td>15.4</td> <td>45.4</td> </tr> </tbody> </table> ・全国学力・学習状況調査等の課題 第1学年「空間図形」の平面の決定条件の取扱い <table border="1"> <thead> <tr> <th>生活との関連の記述の有無</th> <th>図写真</th> <th>4つの決定条件の記述の有無</th> <th>条件提示後の問題設定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>						1年	2年	3年	計	単元内のまとまりごとの確認問題のページ数	12.8	12.0	11.5	36.3	単元末の確認問題のページ数	16.0	14.0	15.4	45.4	生活との関連の記述の有無	図写真	4つの決定条件の記述の有無	条件提示後の問題設定数	○	○	○	-								
		1年	2年	3年	計																															
	単元内のまとまりごとの確認問題のページ数	12.8	12.0	11.5	36.3																															
	単元末の確認問題のページ数	16.0	14.0	15.4	45.4																															
	生活との関連の記述の有無	図写真	4つの決定条件の記述の有無	条件提示後の問題設定数																																
	○	○	○	-																																
	<b>■思考力・判断力・表現力等</b> 問題発見・問題解決の過程の構成や手掛かりとなる記載 第3学年「関数の利用」 P112~114 <table border="1"> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>視点</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>問題を見いだす・つかむ</td> <td>○</td> <td>④</td> <td>他者の考え</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>見通しを立てる</td> <td>○</td> <td>⑤</td> <td>学びをふりかえる</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>問題解決に向けた考え</td> <td>○</td> <td>⑥</td> <td>深める・発展性</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> ・全国学力・学習状況調査等の課題 「データの活用」領域(第2学年「箱ひげ図」) <table border="1"> <thead> <tr> <th>傾向を読み取り説明する問題設定の箇所</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>					視点	内容	有無	視点	内容	有無	①	問題を見いだす・つかむ	○	④	他者の考え	○	②	見通しを立てる	○	⑤	学びをふりかえる	○	③	問題解決に向けた考え	○	⑥	深める・発展性	○	傾向を読み取り説明する問題設定の箇所	数		5			
	視点	内容	有無	視点	内容	有無																														
	①	問題を見いだす・つかむ	○	④	他者の考え	○																														
	②	見通しを立てる	○	⑤	学びをふりかえる	○																														
③	問題解決に向けた考え	○	⑥	深める・発展性	○																															
傾向を読み取り説明する問題設定の箇所	数																																			
	5																																			
<b>■学びに向かう力・人間性等</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単元の導入のページ数</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>16</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> ・単元の導入で、生活や数学の学習の中から学習内容につながる話題を扱い、単元の概要や目標を示す構成である。						1年	2年	3年	計	単元の導入のページ数	14	14	16	44																						
	1年	2年	3年	計																																
単元の導入のページ数	14	14	16	44																																
1-(2) ・学び直しの機会に関わる内容の取扱い					設定																															
	① 章前に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示				○																															
	② 本文中に関連する既習内容を振り返る場面の設定・指示				○																															
1-(3) ・数学的な見方・考え方についての取扱い	<table border="1"> <thead> <tr> <th>数学的な見方・考え方</th> <th>取扱い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>                             ・巻頭で、「大切な見方・考え方」として、数学的な見方・考え方と例を示す。                              ・本文中に、「大切な見方・考え方ラベル」で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。                         </td> </tr> </tbody> </table>					数学的な見方・考え方	取扱い		・巻頭で、「大切な見方・考え方」として、数学的な見方・考え方と例を示す。 ・本文中に、「大切な見方・考え方ラベル」で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。																											
	数学的な見方・考え方	取扱い																																		
	・巻頭で、「大切な見方・考え方」として、数学的な見方・考え方と例を示す。 ・本文中に、「大切な見方・考え方ラベル」で、その場面で働かせる数学的な見方・考え方を示す。																																			
2-(1) ・主体的に学習を調整することにつながる教材や構成	<table border="1"> <thead> <tr> <th>「例」・「例題」等の記載数(箇所)</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>121</td> <td>65</td> <td>107</td> </tr> </tbody> </table> 巻末の取扱い(例) 第1学年 <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>ページ数</th> <th>内容</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SDGsと数学</td> <td>2</td> <td>算数の確かめ</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>数学を仕事に生かす</td> <td>2</td> <td>補充問題</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>数学研究室</td> <td>8</td> <td>活用の問題</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>プログラムと数学</td> <td>2</td> <td>図形のまとめ</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>数学レポートをかこう</td> <td>2</td> <td>総ページ数</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table>				「例」・「例題」等の記載数(箇所)	1年	2年	3年		121	65	107	内容	ページ数	内容	ページ数	SDGsと数学	2	算数の確かめ	5	数学を仕事に生かす	2	補充問題	8	数学研究室	8	活用の問題	4	プログラムと数学	2	図形のまとめ	3	数学レポートをかこう	2	総ページ数	36
	「例」・「例題」等の記載数(箇所)	1年	2年	3年																																
		121	65	107																																
	内容	ページ数	内容	ページ数																																
	SDGsと数学	2	算数の確かめ	5																																
数学を仕事に生かす	2	補充問題	8																																	
数学研究室	8	活用の問題	4																																	
プログラムと数学	2	図形のまとめ	3																																	
数学レポートをかこう	2	総ページ数	36																																	
2-(2) ・学びを振り返り評価・改善しようとするための構成	<b>■単元終了時等に、学びを振り返り評価・改善する場面の設定・指示</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>内容</th> <th>例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>・学習感想</td> <td>第1学年 p297、第2学年 p245、第3学年 p281</td> </tr> </tbody> </table>					設定	内容	例	○	・学習感想	第1学年 p297、第2学年 p245、第3学年 p281																									
	設定	内容	例																																	
○	・学習感想	第1学年 p297、第2学年 p245、第3学年 p281																																		
2-(3) ・二次元コードの分量や構成	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二次元コードの数</td> <td>172</td> <td>122</td> <td>117</td> <td>411</td> </tr> </tbody> </table> ・コンテンツが利用できる学習内容の横に二次元コードが配置され、「見る」「ためす」「身につける」などコンテンツの内容を示す記載がある。					1年	2年	3年	計	二次元コードの数	172	122	117	411																						
		1年	2年	3年	計																															
二次元コードの数	172	122	117	411																																
3-(1) ・教科書の総ページ数、重量	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数</td> <td>324</td> <td>264</td> <td>300</td> <td>888</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>542.6</td> <td>437.8</td> <td>500.4</td> <td>1480.8</td> </tr> </tbody> </table>					1年	2年	3年	計	総ページ数	324	264	300	888	重量(g)	542.6	437.8	500.4	1480.8																	
		1年	2年	3年	計																															
	総ページ数	324	264	300	888																															
重量(g)	542.6	437.8	500.4	1480.8																																
3-(2) ・文字の大きさ、字間、行間、書体等	・書体には全面的にUDフォントを採用し、配色にはカラーユニバーサル観点を取り入れている。 ・重要語句は太字、緑色囲みで強調され、新出用語にはふりがなが付けられている。																																			
3-(3) ・数学用語の索引数	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>索引数</td> <td>126</td> <td>48</td> <td>35</td> <td>209</td> </tr> </tbody> </table>					1年	2年	3年	計	索引数	126	48	35	209																						
		1年	2年	3年	計																															
索引数	126	48	35	209																																

